

進路室より

「ガクチカ」を勘違いしていませんか。
キーワードは『再現性』!

進路室長 橋野 幸男

「コロナ世代」の就職活動に、「ガクチカ言えない問題」という通称を付けた人がいました（「ガクチカ」は、「学生時代に力を入れたこと」の略）。コロナ禍によって学生生活のあらゆる場面（学業、課外活動、学外活動）で制約を強いられた学生たちは、「面接」や「履歴書・エントリーシート（ES）」で述べる「インパクトあるエピソード」が見つからないと困惑、採用側では「ガクチカを聞くのは止めよう」と遠慮した企業もあったとか。

そうした中、ソニーグループは同グループらしく、別の配慮を行いました。2023年卒の新卒採用から、**ガクチカを評価する際の「6つのポイント」**をオープンにしたのです。このポイントには、採用時に企業側が知りたいこと、学生が伝えるべきことがしっかり盛り込まれています。同グループへの応募に限らず、就職活動一般において大いに役立つものです。

まず、その「6つのポイント」とは、次のとおりです。

- | | | |
|------------------|------------|---------|
| ① きっかけ、背景 | ② 設定したゴール | ③ 体制、役割 |
| ④ こだわったこと | ⑤ 結果、学んだこと | |
| ⑥ 学んだことを今後どう活かすか | | |

同グループの新卒採用統括者は、次のようにコメントしています。

＝ これらのポイントからは、「入社後に学生時代の学びや経験を存分に活かし、やりたいことに突き進んでくれそうか」を見ている。

この6つが網羅されているとガクチカに1本の軸が通り、その人ならではの「ストーリー」が伝わってきます。そして、書き手の問題意識やアンテナの高さ、こだわり等もより伝わるので、印象に残ります。～～当社は～特別な経験を求めているというわけではありません。～～ポイントに沿ってまとめていただくことで、ご自身の思いや熱意など「あなたらしさ」が伝わるはずですよ。＝

「自己PR」にしる「ガクチカ」にしる、企業がそれを質問するのは、「この学生がわが社で活躍できるか」を判断する指標にしたいからです。そして、キーワードは、『再現性』です。

再現性とは、「その要素が、単発のものではなく、何度も、また様々なシーンで、結果を生み出すことができる」という意味です。社会人になれば「仕事在日常」であり、企業が期待するのは「その日常（仕事）で、あなたが『再現性ある特性（強み）』を同じように発揮し、成果を上げてくれるか」ということです。となれば、ガクチカの素材としては、特殊な場面で発揮できた特性よりも、「学生生活で日常的に、継続して発揮し続けてきた特性・行動習慣の方が、再現性としての信頼性は高い」、そして、それこそが企業が見極めよ



うとするものなのです。ガクチカの素材を選択する際には、こうした点に留意してください。そして、上掲の「6つのポイント」というフレームや、授業で紹介した「STAR法」（状況－任務・課題－行動－結果）を活用して、「あなたらしいストーリー」を構成してください。

保育所職場体験での学び！ 1CP

令和5年11月13日（月）～11月17日（金）

子ども心理学科 望月 雅穂

「すこやか保育園」で5日間保育所職場体験を行わせていただきました。今回の実習では「子どもたちの発達段階を学ぶ」「どのような遊びを楽しんでいるのか学ぶ」ことを目標に取り組みました。

実習では、1～5歳児までと順番に交流をさせていただきました。1日の保育園での生活の流れを理解し、積極的に子どもたちとかわることで、年齢ごとの遊びやそのスタイルの違い、友だちとの関わり方の違いなどを学びました。5歳児クラスでは、自分たちよりも年下の子の前ではお手本となるようにする姿が印象的でした。また、初めての絵本の読み聞かせも経験しました。とても緊張しましたが、子どもたちが楽しんでくれる様子を見ることができ、嬉しかったです。

目標の一環として掲げた子どもの発達段階についても、一人ひとりの子どもたちが異なる個人差や個性を持っていることを学びました。遊びに関しても、各年齢に合わせた玩具が用意され、共に遊ぶことで学ぶことができました。保育者が子どもたちに合わせた声の掛け方や関わり方、援助の仕方が異なることも理解しました。今回の貴重な経験と学びを、今後の実習に生かしていきたいと思えます。

1月の行事

- 1日（月）元旦
- 5日（金）仕事始め
- 8日（月）成人の日
- 9日（火）後期再開
- 15日（月）2CP保育実習Ⅱ（保育所）～1/27（土）
- 17日（水）キッズハウスひかり園内内科健診 14：00～
- 18日（木）オープンキャンパス 17：00～
- 第5回ステップアップレッスン
- 20日（土）社会人常識マナー検定
- 21日（日）第2回聖徳大学入試（2号館）
- 25日（木）J検・B検CBT 16：30～
- 26日（金）硬筆書写技能検定
- 27日（土）第4回入学選考、13：15オープンキャンパス

第2期実習での学び！ 1TW・CW

令和5年11月27日（月）～12月9日（土）

実習テーマ「基本的なコミュニケーション技法、介護技術、連携のあり方を理解する」

「自身の課題を見つけた第二期実習」

総合福祉学科1年 増田 菜々

私は実習を通して沢山の基本的な介護技術を見学、実施しました。介護職員の方は利用者様とコミュニケーションを取りながらも身体に負担にならないように素早く介助をしていました。見学している時は私にもできるのかと思いましたが、実際にやってみたら思っていた以上に難しかったです。専門性を身につける為には何回も行って技術を磨いていく必要があると感じました。

また、サービス担当者会議や看護師の方の仕事を、一日学ばせていただくという体験もありました。他の職種の視点からみることで、お互いの専門性を深く知ることができ、尊重し合えると感じました。専門職間での連携の大切さを感じることができました。これは利用者様により良いサービスを提供するためにも大切なことだと感じます。

今回、十日間の第二期実習を終えて、まだ自分に足りないことが沢山あるのだと気付くことも出来ました。今回の経験を活かし、学習し、専門職として知識、技術を向上させていきます。

「声掛けの重要性と創意工夫の実際」

介護福祉学科1年 西銘 琉斗

私は第2期実習で「排せ介助」と「食事介助」に重点を置き、10日間特別養護老人ホームで実習を行ってきました。

それぞれの介助方法には注意点や配慮すべき事項が沢山あり、職員の方々の洗練された技術の高さを目の当たりにしました。しかし実際に一部介助を経験させていただけたことで、いきなり介助場面に入るのはなく、どんな利用者様にも同意を得る声掛けの重要性や、利用者様を把握した上での事前準備に工夫する様子を知ることができ、感銘を受けました。「排せ介助」では羞恥心や不安感を取り除けるような安心していただける声掛け、「食事介助」では自立して最後までおいしく食事ができるように自助具やストローを使うなど、細かな気配り・心配りがなされていて、大変驚き、感動しました。

今回は2年生となり、5週間という更に長く内容の濃い実習が待っていますが、今回感じることでできた職員の方々の配慮を忘れることなく、より一層の介護技術習得に向け努力していきたいです。

未来発見！お仕事体験フェア アピタ静岡

令和5年12月2日(土)、12月3日(日)実施

「次世代へ膨らむ期待」

ITゲーム&ロボットシステム学科2年 長谷川 陸

12月2日(土)にアピタ静岡で開催された「お仕事体験フェア」に、もう一人のクラスメイトと一緒に学生サポーターとして参加させて頂きました。今回は、私が3Dプリンタで製作した部品を組み込んだ小型ロボットを題材に、来場者に製作体験をして頂きました。

初めて小学生に一对一で教える場だったため、最初は不安と緊張がありましたが、笑顔で丁寧な声掛けを心掛けたおかげで、参加者は指示通りに製作し、楽しんでロボットを完成させることができました。付き添っていた保護者の方にも、とても喜んで頂きました。

この活動を通じて、私たちの次の世代の子どもたちが、AIやIoT、ロボットに興味をもち、将来的にはその技術を駆使して、日本の少子化に立ち向かっていけるような一助になってくれたら…と、期待に胸が膨らみました。



企画広報室より

企画広報室 小林 昌人

あけましておめでとうございます。昨年は数年続いたコロナによる制限もだいぶ緩和されて、活動の範囲が広がった人も多かったのではないのでしょうか。今年2024年も、「なりたい自分になる」ために1日も無駄にしない気持ちで、実習、作品制作等をがんばりましょう。

さて、本学では後期AO入学選考のエントリーを受付しています。進路選択に迷っているご家族や友人、後輩等がいらっしゃればぜひ本学を紹介してあげてください。希望していただける方にはぜひオープンキャンパスへ参加してもらうようにお伝えください。まずはオープンキャンパスの体験授業で目指す分野、仕事について一緒に考えましょう。

また、在校生の皆さんもいつもオープンキャンパスへご協力いただき、ありがとうございます。オープンキャンパス終了後の参加者アンケートを見ると、在校生の話が聞けて参考になった、また参加したい、とたくさんの方が書いてくれています。高校生は在校生を通して将来の自分の姿をイメージしますので、今後のオープンキャンパスでも高校生から「先輩たちのようにになりたい!」と感じてもらえるよう、また「自分磨き」の機会として在校生の皆さんご協力をお願いします。

第4回入学選考

- 入学選考日：令和6年1月27日(土)
特待生選考、自己推薦選考、一般選考、社会人選考、留学生選考
- 出願受付期間：～1月26日(金) 15時必着
以降、最終選考は令和6年3月29日(金)となります。



【B日程】

- ・エントリー期間：令和6年1月9日(火)～2月17日(土)
- ・結果発送：令和6年1月12日(金)～2月21日(水)

【C日程】

- ・エントリー期間：令和6年2月26日(月)～3月23日(土)
- ・結果発送：令和6年2月29日(木)～3月29日(金)

オープンキャンパス

「なりたい自分になる」

- ①学校・学科説明 ②体験授業
- ③保護者説明会 ④何でも相談会
- ⑤入学選考説明会

※土曜開催日には在校生も参加

【日程】

- 1/18(木) 両校17:00～ ○1/27(土) 両校13:15～
- 2/ 8(木) 両校17:00～ ○2/17(土) 両校13:15～
- 2/28(水) 両校17:00～ ○3/ 9(土) 両校13:15～

★最終スペシャルオープンキャンパス：3/23(土)開催
卒業生も参加し、職業イメージアップ!

上記日程以外でも「個別でのオープンキャンパス」や「オンライン個別相談」を実施します。お気軽にご連絡ください。

フードドライブ開催!

【日程】

01/9(火)～2/2(金)



ご家庭の余っている食品をお持ちください。
※2024年5月以降のもの
※常温保存でき未開封のもの

食品寄付運動にご協力をお願いします!



「コミュニケーションの重要性」

視能訓練士学科1年 白井 日菜

私は学生スタッフとしてお仕事体験フェアに参加させて頂きました。10月に行われた病院実習では見学がメインだったので、参加者の方に上手く検査できるか不安と緊張でいっぱいでした。

参加者の年齢層が幅広くあったため、年齢に合わせて話し方や接し方、検査説明を工夫しました。特に小さなお子さんに検査する際は視線を合わせ、笑顔で話しかけました。検査に集中してもらうために効率よく検査し、声掛けを多くするように心掛けました。

イベントに参加したことで検査中のコミュニケーションの重要性について再認識することができました。患者様の訴えを聞くためには患者様からの信頼が必要であり、そのためには検査中のコミュニケーションが非常に重要であると感じました。

今回学んだことを今後の病院実習でも活かしていきたいです。